

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

○4月観光情報

【史跡足利学校企画展 徳川家康と足利学校】

戦国時代末期、徳川家康のブレーンとして活躍した足利学校第9世庠主(しょうしゅ)・閑室元佶(かんしつげんきつ・安土桃山時代から江戸時代初期にかけての臨濟宗の僧))の実績を中心に、徳川家康と足利学校の関係について紹介します。

日 時:4月2日(日)まで

場 所:足利学校遺蹟図書館(史跡足利学校内)

参観時間:3月:午前9時～午後4時30分

4月以降:午前9時～午後5時(受付は閉館の30分前まで)

参観料:一般420円、高校生220円(団体割引あり)中学生以下無料

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより約10分

問合先:史跡足利学校事務所 ☎0284-41-2661

【あしかが『美』食まつり2023】

足利市内の農家の方々が手塩にかけて育てたJA足利の農産物ブランド「あしかが美人®」。その中のトマト・アスパラガス・いちごが旬を迎える時期、市内の飲食店とコラボレーションして珠玉のメニューとなって登場します。

これまでの、パスタ、パンケーキ、パフェ、などに加えて、今回、ドライカレーや天ぷらなど新たなメニューもお楽しみいただけます。

沢山の方にご参加・ご賞味いただけるよう、様々な工夫を凝らし準備を進めておりますので、ぜひご期待ください。

日 時:3月4日(土)～5月7日(日) 各協賛店舗の営業時間内

場 所:足利市内各協賛店舗

問合先:あしかが『美』食まつり実行委員会(事務局:一般社団法人足利市観光協会)

☎0284-43-3000

【物外軒茶室無料公開】(足利市指定文化財/国登録記念物)

この茶室は、もともと猿田の萬屋三代目 よろずや 長 ちやう 四郎三氏によって、明治初期に渡良瀬川河畔の萬屋邸内に建てられました。この四郎三という人は、江戸にも聞こえるほどの豪商であったばかりではなく、漢詩、和歌、俳句、書画骨董の収集にも通じる教養人であったと伝えられています。

茶室は表千家不白流(おもてせんけふはくりゅう)の流れを汲むもので、木造平屋の切妻造(きりづまづくり)、三畳台目(さんじょうだいめ)の茶室と三畳の次の間、勝手、水屋からなり、建築に当たっては日本を代表する古筆鑑定家 古筆了仲(こひつりょうちゅう)の指導を受け、慎重を期したと言われていています。

春の一日、この茶室に佇むと幕末から昭和にかけて栄えた足利屈指の豪商の奥座敷にタイムスリップしたかのような雰囲気を感じることが出来ます。

日 時:4・5月の土・日・祝日、6月の第2日曜日 各日午前9時～午後4時

場 所:物外軒(通6丁目3165-2番地 織姫公民館北側)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約20分

JR両毛線足利駅より徒歩で約20分

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約40分

問合せ先:足利市文化課文化財保護・世界遺産推進担当 ☎0284-20-2230

【足利春まつり】

ゴールデンウィークを中心に、市内を散策する「あしかが春ウォーク」などのイベントが予定されています。

期 間:4月15日(土)～5月21日(日)

場 所:市内各所

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより約10分

東北自動車道佐野藤岡ICより約30分

問合せ先:足利春まつり実行委員会(事務局:足利商工会議所) ☎0284-21-1354

☆ふじのはな物語～大藤まつり2023～

350本以上の藤の花と5,000本以上のつつじが咲く「ふじのはな物語～大藤まつり2023～」。世界一の美しさを誇る、600畳敷ほどの大藤棚3面、80mも続く白藤のトンネルや、きばな藤のトンネル、スクリーン仕立ての藤など息をのむ美しさを堪能できます。

そして、この藤が夜はライトアップされ、皆さまを別世界へと誘う神秘的な姿もご覧いただけます。例年は4月中旬にうす紅藤が咲き始め、大藤・むらさき藤、白藤、きばな藤の順に約1か月お楽しみいただけます。

5,000株以上咲き誇るつつじは例年ですと4月中旬から5月上旬頃が見ごろです。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては開催規模の縮小等もございます。

期 間:4月15日(土)～5月21日(日)

※ライトアップ期間:4月21日(金)～5月21日(日)

入園料:大人900円～2,100円、子供500円～1,100円

※夜の部(夜の部入場券は午後5時30分から販売)

大人700円～1,900円、子供400円～1,000円

※開花状況により期間は変更になる場合もございます。

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で3分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約18分

問合せ先:あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

【ヴァンヤード・デイズ】

ココ・ファーム・ワイナリーの醸造場で、各種ワインのテイastingやワイナリーの見学をお楽しみ頂けます。

また、イラストレーター原倫子さんの個展やグッズの販売も行われます。

◇原倫子個展 午前10時～午後6時(無料)

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

第39回収穫祭記念ワインラベルを描いた原倫子氏の作品をワイナリーのカフェでご覧頂けます。

◇ワイン醸造場に楽しいお店が出展予定。詳細は公式サイトおよびSNSをご参照ください。

日 時:4月もしくは5月(日程の詳細は決定次第お知らせいたします)午前10時～午後6時

場 所:ココ・ファーム・ワイナリー(田島町)

交 通:JR両毛線足利駅より車で約20分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約10分

あしバスアッシー(生活路線バス)行道線バス停(ココ・ファーム入口)より徒歩7分

問合先:ココ・ファーム・ワイナリー ☎0284-42-1194

【さくら祭り】

☆足利公園の桜ライトアップ

日本で日本人により最初に学術的な考古学調査が行われた足利公園古墳の丘陵は桜の名所でもあります。八雲神社から草雲美術館へ続く桜色の景色が、夜、ぼんぼりの灯りに照らされ美しくライトアップされます。「みんなで楽しむお花見」をコンセプトに、お店も並ぶ予定です。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、規模を縮小しての開催となる場合がございます。

日 時:4月2(日)イベント開催予定

ライトアップは3月19日(日)～4月9日(日)

場 所:足利公園(緑町)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約25分

JR両毛線足利駅より徒歩で約30分

北関東自動車道足利ICより約20分

北関東自動車道太田桐生ICより約12分

東北自動車道佐野藤岡ICより約30分

問合先:足利公園観光協会 ☎0284-22-0121(田辺様宅)

【大岩山毘沙門天春季大祭御護摩修行】

奈良の信貴山・京都の鞍馬山とともに、日本三大毘沙門天の一つとして知られる大岩山毘沙門天(大岩山多聞院最勝寺)で春季大祭御護摩修行が行われます。

当日はご開帳があり、多くの方が参拝されます。

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、感染対策を講じながら開催致します。

日 時:4月1日(土)御護摩修行:午前5時30分、午前10時、午後1時30分(参拝は終日)
(毎年4月1日開催)

場 所:大岩山毘沙門天(大岩山多聞院最勝寺)(大岩町)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

JR両毛線足利駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約30分

問合先:最勝寺 ☎0284-21-8885

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

【下野國一社八幡宮春季例大祭】

下野國一社八幡宮は、八幡太郎の源義家が、勅命により陸奥の豪族安倍頼時父子を討伐^{ばつ}するために下向の途中、戦勝を祈願して創建したのが始まりといわれています。

下野国第一の八幡宮として、下野國一社八幡宮と称し、南北朝時代以降の指定文化財を数多く有しています。

境内には、「日本三大縁切り稻荷」の一つに数えられ、縁切りは勿論の事、病気、災難、厄除けにも靈驗あらたかな門田稻荷神社があります。

春祭りでは足利市無形文化財に指定されている御神樂が毎年披露されます。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては規模縮小等もごさいます。

日 時:4月8日(土) ※毎年4月第二土曜日

場 所:下野國一社八幡宮(八幡町)

内 容:ご参拝 午後8時まで

御神樂 午前10時～午後3時頃予定(詳細未定)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約5分、徒歩で約20分

JR両毛線足利駅より車で約10分、徒歩で約30分

北関東自動車道足利ICより約20分

問合先:下野國一社八幡宮社務所 ☎0284-71-0292

【樺崎八幡宮春祭】

鏝阿寺の開基として知られる源姓足利氏2代目義兼が、その生涯を閉じた地に建てられたのが樺崎八幡宮といわれ、本殿の床下には「足利義兼公御廟」と書いた墓標が立っています。

発掘調査の結果、この遺跡は浄土庭園やお堂を残す中世の寺院跡として全国的に貴重であることが認められ、国指定史跡となっています。

樺崎八幡宮春祭では、氏子の方々による太々神樂の披露、また地元の方による模擬店が出ます。新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては規模縮小等もごさいます。

日 時:4月16日(日)(毎年4月の第3日曜日)

場 所:樺崎八幡宮(樺崎町)

内 容:祈願式 午前11時～

模擬店 午前10時～午後3時(予定)

神樂 午前10時～午後3時(予定)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

JR両毛線足利駅から車で約15分

北関東自動車道足利ICから約5分

問合先:樺崎八幡宮総代長 齋藤宅 ☎0284-41-3504

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

花情報

開花時期は、気候等により若干前後する場合がありますので、お問合せのうえお出かけください。

問合先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

足利市観光まちづくり課観光・ロケツーリズム担当 ☎0284-20-2165

【さくら】

日本の花といたら多くの方がこの名をあげる「さくら」。

東砂原後町・田所町の旧袋川沿いでは、色濃いピンクが特徴的なしだれ桜を鑑賞することができます。

また、千歳町や常盤町の袋川沿いでは桜に加え、黄色が鮮やかな菜の花も咲き誇り、ピンクと黄色のコントラストを楽しみながら川沿いの散歩を楽しめます。

栗田美術館の桜や鑿阿寺のしだれ桜も必見です。

時 期:3月下旬～4月中旬

場 所:千歳地区袋川堤(約150本、千歳町・常盤町・寿町)、
足利公園(約220本、緑町2丁目)、織姫公園(約330本、巴町)、
山前公園(約320本、大前町)、東砂原後町・田所町付近旧袋川、
利保町宮前橋付近(名草川、通称めがね橋)、鑿阿寺、栗田美術館、
史跡足利学校ほか

問合先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

【菜の花】

菜の花が一面に咲く渡良瀬川沿いは、まるで黄色い絨毯を敷き詰めたかのよう。菜の花が咲き誇る川沿いの堤防を歩くと、体全体で春の訪れを感じることができます。菜の花の向こうに夕日が沈んでいく様は、まるで夕日が菜の花に溶け込んでいくかのようです。

時 期:3月下旬～4月上旬

場 所:渡良瀬川堤防(野田町)、千歳地区袋川沿い(千歳町・常盤町・寿町)

問合先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

【ふじ】

ピンク・むらさき・白・黄色と足利市に春の訪れを感じさせてくれる花。藤は足利市の花でもあります。

足利織姫神社には、あしかがフラワーパークから奉納された「大藤のこども」の藤があり、満開の時期には藤棚越しに朱色の社殿をご覧いただくことができます。

時 期:4月中旬～5月中旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)、足利織姫神社(西宮町)、足利学校(昌平町)

問合先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

【つつじ】

一面に咲き誇る「つつじ」は、うらかな春を感じさせ、見る人を明るい気分へと誘ってくれます。

時 期:4月下旬～5月上旬

場 所:織姫公園(巴町)、山前公園(大前町)、足利公園(緑町2丁目)、
あしかがフラワーパーク(迫間町)

問合せ先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

体 験

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」の公演資料をご覧頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前にご連絡をお願い致しております。現在、実演は中止をしております。)

場 所:八木節会館(福居町580-1)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約20分

問合せ先:足利市八木節連合会 ☎0284-71-1214

また、太平記館では「観光八木節太平記館公演」として、足利市を訪れる観光客に、「八木節発祥の地・足利」を知っていただき八木節を通じて観光の振興を図るため、足利市八木節連合会の協力による八木節公演が行われています。

日 時:4月16日(日)～11月中旬の日曜日・祝日

午後2時～午後3時

場 所:太平記館南側駐車場(伊勢町3丁目6-4)

行 事:八木節公演

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩約10分

北関東自動車道足利ICより約10分

問合せ先:観光八木節実行委員会(足利市観光まちづくり課内) ☎0284-20-2264

【いちご狩り】

摘みたてで新鮮。あまーいいちごが30分間食べ放題でお楽しみいただけます。

新鮮なとちおとめ、スカイベリー、とちあいかをその場で食べて、またお土産で持って帰ることもできます。

5月中旬ごろまでの営業となりますので、お早めにご予約ください。

場 所:JA足利 アグリランド株式会社 いちご農園(大久保町362)

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

営業期間:5月中旬頃まで

定休日:いちご狩りは毎週火曜日(祝日は営業)

料 金:4月9日(日)まで 一般(小学生以上)1,800円、幼児(3歳以上未就学児)900円

4月10日(月)～5月7日(日) 一般1,600円、幼児800円

5月8日(月)～閉園 一般1,400円、幼児700円

交 通:JR両毛線富田駅より徒歩で約25分

あしかがフラワーパークより徒歩で約7分

北関東自動車道足利ICより約20分

問合先:JA足利 アグリランド株式会社 いちご農園 ☎0284-91-0005